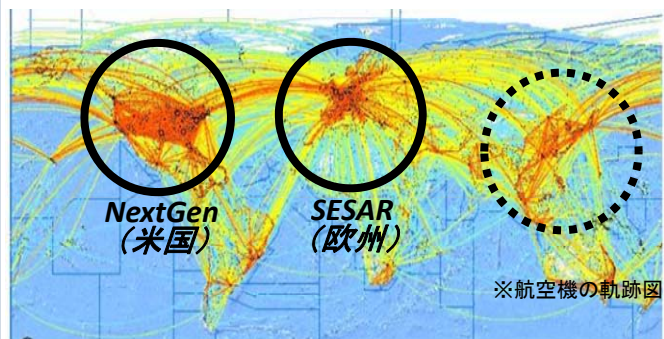


将来の航空交通システム(ATM/CNS)に関する長期ビジョン(CARATS) 概要

背景

- ・ICAOが2025年を目指した航空交通管理に関する指針を策定
- ・欧米で上記指針に基づいた長期計画を策定 (米:NextGen、欧:SESAR)
- ・アジア・太平洋地域における急速な需要増



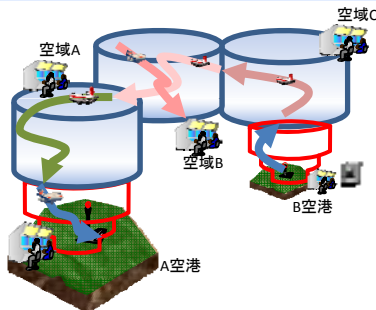
アジア太平洋地域におけるシームレススカイを実現するため、我が国においても、将来の航空交通システムに関する長期ビジョンを検討することが必要

目標設定(数値目標を明確化)

- ①安全性の向上 (安全性を5倍に向上)
- ②航空交通量増大への対応 (混雑空域における管制の処理容量を2倍に向上)
- ③利便性の向上 (サービスレベル(定時性、就航率、速達性)を10%向上)
- ④運航の効率性向上 (1フライト当たりの燃料消費量を10%削減)
- ⑤航空保安業務の効率性向上 (航空保安業務の効率性を50%向上)
- ⑥環境への配慮 (1フライト当たりのCO2排出量を10%削減)
- ⑦航空交通分野における我が国の国際プレゼンスの向上

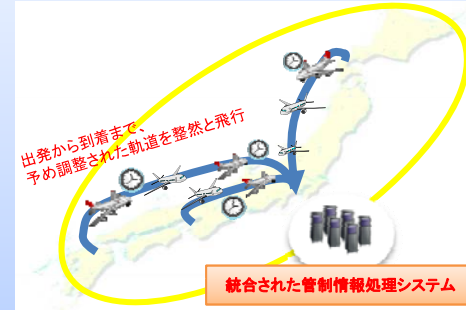
変革の方向性

現行(空域ベース運用)



- ・分割された空域、予め定められた経路を基本とした運用
- ・現位置を把握し、将来位置を「予測」

将来(軌道ベース運用)



- ・全体を1つの空域として捉え、出発から到着までの軌道を最適化
- ・現位置と将来位置(空間、時間)を「正確に把握」

技術革新

将来の航空交通システムの構築に当たっては、様々な関係者の協調が必要

CARATS(キャラッツ):

Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems:
航空交通システムの変革に向けた協動的行動

